

2006年1月4日

## **当社再保険子会社「トウキョウ・ミレニアム・リー・リミテッド」の増資について**

東京海上日動火災保険株式会社(社長 石原 邦夫)は、英領バミューダ所在の再保険子会社「トウキョウ・ミレニアム・リー・リミテッド(Tokio Millennium Re Ltd.以下「TMRe社」とします)」の資本金<sup>(注)</sup>を500百万米ドルから、150百万米ドル増資し、650百万米ドルとしました。これにより、引受領域を拡大し、需給環境が好転している再保険市場において、収益の拡大を目指します。

2004年のハリケーンが多発、2005年のハリケーン・カトリーナなど相次ぐ巨大災害の発生により、再保険会社の中には、財務状況が悪化し、格付が引き下げられる会社が現れるなど、再保険者の信用力に対する関心が高まっております。また、これらの巨大災害の多発の結果、今後の再保険市場では料率の上昇が見込まれています。

当社は、このような環境の下、当社グループの高い信用力を活かすことで、再保険事業の収益基盤を更に拡大できると判断しました。具体的には、再保険事業拠点の一つであるTMRe社の資本金<sup>(注)</sup>を500百万米ドル(邦貨換算 約600億円)から650百万米ドル(邦貨換算 約780億円)に増資し、引受領域を拡大することにより収益の拡大を目指します。TMRe社においては、これまで巨大自然災害を中心とした再保険の引受を行ってまいりましたが、現下の再保険マーケットの情勢変化を背景に、自然災害以外の巨大災害リスクを効果的に引受けることにより、リスク分散を高め、中長期的な収益規模の拡大が期待できることから、引受領域を拡大することとしたものです。

この引受領域の拡大にあたっては、TMRe社で開業以来発展させてきた最先端のリスク管理技術を用いて参ります。その技術力の高さはマーケットで有数のレベルと認知されております。更に、これに加えて当社グループの高い信用力を活用して引受の拡大を行って参ります。

### **<TMRe社の概要>**

1. 名称 : Tokio Millennium Re Ltd. (トウキョウ・ミレニアム・リー・リミテッド)
2. 本社 : 英領バミューダ ハミルトン市
3. 社長 : 武田 祐一(たけだ ゆういち)
4. スタッフ数 : 20名
5. 資本金<sup>(注)</sup> : 650百万米ドル(約780億円、1米ドル = 120円で換算)
6. 株主 : 東京海上日動火災保険株式会社 100%

(注)資本準備金を含みます。

以上